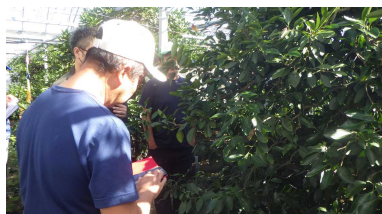


普及活動情勢報告（令和 5 年 10 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

加温開始時期の判断は慎重に！～温室みかん部会現地研修会～



園地巡回の様子

10月6日、11日、13日に、JA高知県香美地区温室みかん部会が支部ごとに現地研修会を開催し、部会員計22名が参加しました。

参加者の園地を巡回しながら、前作の反省点、防除履歴、樹の状態、加温開始時期等について検討しました。

農業改良普及課は、安定した着花量を確保するための加温前管理作業と、加温開始時期の判断指標を紹介しました。

参加者からは「着花量が重要であるため、加温開始日を慎重に判断したい」という意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、温室みかんの高品質安定生産に向けて支援します。

第2回集落営農組織等意見交換会～「担い手の確保」に向けて～



講演を聴く参加者

10月13日、香美農林合同庁舎において、管内集落営農組織及び集落営農検討中の地区を対象に意見交換会を開催し、7組織・4地区計18名が参加しました。

農業担い手支援課からの情報提供、幡多地域の集落営農の取組紹介の後、農事組合法人「ふぁー夢宗呂川」から講演がありました。その後の「担い手の確保」をテーマとしたグループワークでは、農業改良普及課が進行を務めました。

参加者からは「若者だけでなく、定年帰農者や移住者にも関わって欲しい」「担い手確保のため、水稻以外の収益作物を考えていく」との意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、次年度の意見交換会開催及び担い手確保への取組を支援します。

令和6園芸年度作の部会がスタート！～香美地区ピーマン部会現地検討会～



生育状況をチェック！

10月18日、JA高知県香美地区園芸部ピーマン部会現地検討会が開催され、部会員及び関係機関計10名が参加しました。

現地検討会ではほ場3箇所を回り、JAからは、基本的な栽培管理と病害虫対策について、農業改良普及課は、環境データの活用方法と秋期の温度管理について情報提供しました。

参加者からは、加温設定温度や害虫防除対策など、多くの質問が出され、活発な議論が繰り広げられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、ピーマンの収量向上に向けて支援します。

ナスの初期管理を徹底しよう！～香美地区なす部会現地検討会～



意見交換する生産者

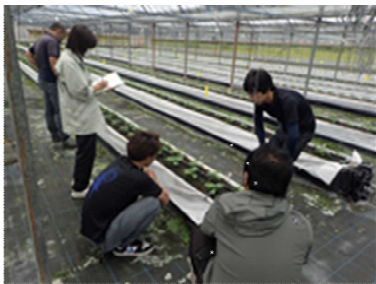
9月25日、J A高知県香美地区なす部会が現地検討会を開催し、生産者9名が参加しました。

J Aからは、増収に向けた初期管理及び時期別の管理について説明し、農業改良普及課は、トマトキバガの注意喚起と病虫害防除について指導しました。

現地検討会では「わき芽は残した方が良いのではないか」「誘引を早めにした方が良い」など、生産者同士で議論する場面が見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ナスの生産安定に向けて支援します。

新たな挑戦！～養液栽培現地視察～



養液栽培の説明に
熱心に耳を傾ける参加者

10月5日、J A高知県香美地区園芸部オオバ部会が、四万十市オオバ養液栽培ほ場の現地視察研修を実施し、今後新たに養液栽培を始める予定の2名が参加しました。

本視察は他地域の養液栽培事例を勉強・情報交換する目的で実施され、農業改良普及課は、品質低下につながる各種障害について情報共有し、それらの原因について議論しました。

参加者は、養液栽培を始めた経緯や土耕栽培との違い、養液培地の交換頻度などについて活発に意見交換し、次年度からの養液栽培に向けて気持ちを新たにしていました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、養液栽培技術を指導し、オオバの生産安定を支援します。

ウイルスフリー化による青ネギ在来系統の更新 ～香美地区洋菜部会～



培養中のウイルスフリー苗

J A高知県香美地区洋菜部会では、青ネギの品質と収量の向上を目指し、令和4年4月からウイルスフリー苗の活用に向けた取組を進めています。

農業改良普及課は、農業技術センターと協力し、地域在来系統からの選定、ウイルスフリー苗の作出及び増殖のサポートを行ってきました。地域在来の15系統の中から3系統を選定し、現在合計200個体ほどまでに増殖され、安定的な増殖のめどが立ったことから、次年度は現地ほ場試験の実施を計画しています。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、青ネギの生産安定に向けて支援します。